

2026 年 1 月 28 日

ニュースリリース  
報道関係各位

入江工研株式会社

## 第 39 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムに参加 ポスターセッションにて講演実施 併せて「NEGLAZE®（ネグレーズ®）」を展示

半導体製造装置・高速鉄道等に活用されるベローズ※の開発・販売を手掛ける入江工研株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長入江則裕 以下、当社）は1月7日（水）から1月9日（金）に東北大学百周年記念会館 川内萩ホールおよび仙台国際センター 展示棟にて開催された「第 39 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム」にて学術発表および企業展示に参加いたしました。

今回は1月9日に仙台国際センター・展示棟 展示室 1、2 にて開催されたポスターセッションにて「冷却補助による小口径ベローズへの無酸素 Pd/Ti 蒸着 NEG とその排気性能評価」のタイトルにて講演させていただくとともに、昨年 11 月 4 日より、本格販売を開始した「NEGLAZE（ネグレーズ）」の展示を実施いたしました。

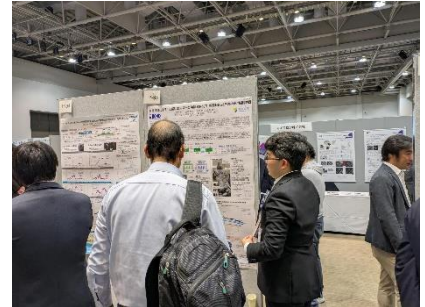


## ■当日の様子

講演は「冷却補助による小口径ベローズへの無酸素 Pd/Ti 蒸着 NEG とその排気性能評価」について当社テクニカルセンター開発グループ所属の狩野と東京大学新領域創成科学研究科の吉川教授を含め 6 名による説明を行いました。

本シンポジウム全体では約 700 名の研究者、一般、学生のご来場者があり、当社を含めた 346 件の講演や発表の内容について熱心に聴講いただきました。

当社の展示については 2 日間で 45 社 57 名の方がご見学され、当社の説明員が具体的な説明を実施させていただきました。



## ■主な展示品

無酸素 Pd/Ti 蒸着非蒸発型ゲッター (NEG) ポンプ「NEGLAZE® (ネグレイズ®)」 (現品展示)  
2022 年度 (一社) 日本真空工業会表彰『イノベーション賞』を受賞製品

「真空排気の効果をもつ成形ベローズ」で、本年 11 月に正式販売を開始しております。本年 10 月には国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科の吉川一朗教授らと「宇宙観測機輸送に革新をもたらす NEG ポンプ技術の開発」として共同発表をさせていただいており、当製品により惑星科学深宇宙探査が進歩することが期待されています。NEGLAZE はお客様の用途に応じて、比較的容易に超高真空環境を作り出すことができます。例えば、超高真空環境を必要とする容器・機器・装置 (分析装置や試料保管容器など) に応用可能です。

今回、販売を開始した ICF203 サイズのゼロレンジ型を展示しました。



昇降用溶接ベローズ (現品展示)

加速器・核融合・鉄道・医療などの幅広い分野において、気体・流体の気密封止を担うシール部材として使用されている溶接ベローズ。

今回は、この溶接ベローズを内蔵した超高真空対応の導入機や、耐食性に優れた高ニッケル合金製の小型・薄型溶接ベローズをご紹介します。

「伸縮性」と「高い気密性」を併せ持つ特長を活かし、加速器などの装置における固定配管同士の接続部やシール部、容器とポンプを接続する製品などを展示しました。



当社の活躍の場は海外市場にまで拡がり、真空技術の新たな価値を生み出す研究開発に取り組んでおります。当社の「強み」である「今ある技術を軸として発展を継承する」「個性ある技術＝お客様の想像を超える技術の開発」を目指し、人財を育成し、技術の発展のための開発を続けていきます。

※「ベローズ (Bellows)」とは、日本語に訳すと「蛇腹」という意味を持ちます。工業製品でいう「蛇腹」とは紙・布・プラスチック・金属などの膜ないしは板状の部材で作られる、山折りと谷折りの繰り返し構造の製品です。真空を扱う分野では、一般に金属で製作した筒状のものにひだを設け、伸縮性・気密性・バネ性を持たせたものを「ベローズ」と呼んでいます。つまり、「ベローズ」＝「伸縮管」です

## ■開催概要

第 39 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム

会期：2026 年 1 月 7 日（水）-9 日（金）

会場：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール 仙台国際センター 展示棟

主催：日本放射光学会

主催者 HP: <https://jssrr.smoosy.atlas.jp/ja>

「日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム」は今年で 39 回目を迎える真空機器・真空装置の総合展示会になっております。

技術開発・製品製造・販売など真空技術に関わる企業、研究者の方々が毎年多数来場し、ビジネスに直結する数多くの商談が行われております。

以上

入江工研株式会社 会社概要

代 表 者：代表取締役社長 入江則裕

設 立：昭和 41 年 5 月 24 日

資 本 金：1 億円

住 所：〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 414

T E L：03-3507-9611（代表）

F A X：03-3507-9615（代表）

U R L：<https://www.ikc.co.jp/company.html>

アクセス：<https://maps.app.goo.gl/iSsyCWrXXgq2rzDE6>

従 業 員：約 200 名（2025 年 3 月 31 日現在）

### <本件に関するお問い合わせ先>

入江工研株式会社 経営企画室 広報係 担当 柴原

TEL:03-03-3507-9617/ Fax: 03-3507-9615

Mail: [koho@ikc.co.jp](mailto:koho@ikc.co.jp)